

# ガラス封止材付け出荷

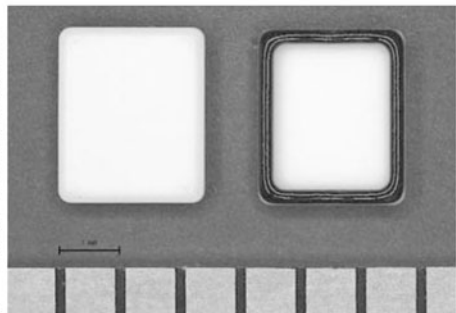
## ウイセラと 水晶振動子向け照準

### セラミックス加工品

ウイセラ（岐阜県瑞浪市、佐藤裕洋社長、0572・64・2001）は、江東電気（東京都台東区）と連携し、セラミックス加工品にガラス封止材を付けて出荷する事業を始めた。スマートフォン（多機能携帯電話）に搭載する水晶振動子や、ミリ波帯無線機の筐体・カバー向けなどに提案していく。小ロット品など顧客からの要望にきめ細かく対応し、他社と差別化する。2013年度中の受注を目指す。

ウイセラはセラミック加工を手がける。ガラス封止材を扱う江東電気の技術を生かして新事業に参入した。製品はウイセラの日吉工場（同県瑞浪市）で加工したセラミックス品を江東電気の熊

時に手がけるのは大手企業に限られていた。コンクリート製品などを手がけるゼニス羽田グループのウイセラは、セラミックス製の温度ヒューズ用ケースやコイルの巻き芯などを製造する。江東電気との連携で、これまでの実績が少なかった水晶振動子用途の需要を取り込む。



江東電気は封止材のほか、板金加工やメッキ加工を手がける。水晶振動

セラミックス製の箱型ケースのふちにガラス封止材を付けた製品

子向け板金製キャップも扱う。連携によりセラミックス製の筐体やケースに参入できるとみている。両社は鉄道向けミリ波帯無線機のカバーや自動車用の電子部品、医療機器などの用途も開拓していく。